

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和3年 第4回定例会)

質問順位	10 10番議員 大山勝代	
質問事項1	町としての「同性パートナーシップ制度」導入について	
質問の要旨	佐賀県は今年8月から「佐賀県パートナーシップ宣誓制度」を新設し、受付を開始した。日本は戦前からの封建的家制度の下、同性カップルの婚姻を認めていない。LGBTなど性的少数者への婚姻等への差別を少しでも解消するため、町としての制度新設を求める。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 世界的にジェンダー平等の流れがある中、現状について町としての見解を示せ	町長
	(2) 佐賀県がパートナーシップ宣誓制度を新設したことで、どういう対応ができるようになるのか、例を挙げて示せ	町長
	(3) 町営住宅への入居に対し、このような事例の対応はこれまでにあったか	町長
	(4) 社会通念の今日的变化に対し、男女共同参画推進の中で、町民への啓発をどう進めていくか	町長
質問事項2	ジェンダー平等に関する学校現場の対応について	
質問の要旨	近年の多様化の時代、学校現場では性別で異なる校則を見直す動きが広がっている。制服の選択制導入もその一つだ。基山町の小・中学校の対応はどうか。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 従来の在り方に対して、出席簿の混合名簿などこの数年間にどう見直しが行われ、実施されているか。具体的に示せ	教育長
	(2) 中学校の制服の選択制の導入はどう進んでいるか	教育長
	(3) 今後、生徒の意見を取り入れた校則見直しの推進はどうあるべきか	教育長
	(4) 多様性を認めようという変化に対し、町民の理解度を深める手立てはどう考えるか	教育長